

平成22年度「日本の学校を知ろう！」セミナー  
～日本語を母語としない子どもと保護者のための進学等に関する地域懇談会～

- ①実施日：平成22年11月13日（土） 午前9時30分～午前11時30分
- ②場所：クロスパルにいがた
- ③参加者内訳：4か国（中国、フィリピン、タイ、カナダ）6家族 13名
- ④協力：新潟市教育委員会、新潟大学ボランティアグループ R's（アールズ）

「日本の学校を知ろう」というテーマで、日本語を母語としない子どもと保護者のために、日本の学校制度や授業等について学ぶ会を行いました。進学等について不安や疑問に感じている参加者にとって、日本の学校のことをより理解できる良い機会となります。また子どもたちや保護者がネットワークを広げる場となりました。

<セミナーの内容>

① 学校制度の説明

スライドや多言語の冊子を使い、教育委員会から学校制度について説明を聞きました。そこでは、日本の小学校、中学校は義務教育であるという話や、学校、学科の種類、学校生活について理解を深めました。

たとえば学校の行事や給食のこと、使用する教科書、学校でかかる費用などについての話です。特に中学への進学、高校、大学の受験や入学試験について以前より理解できるようになったという声が寄せられました。

② 体験談の発表

現在、西川竹園高校に通う体験者から、自身の体験談を話してくれました。

「R's」という外国籍生徒の学習支援のために活動するボランティアグループから日本語と学校の勉強の指導を受けました。来日した当初は分からなかった日本語もわかるようになりました。そこでは同じ境遇の仲間に出会い、友だちが増えると日本語にも学校にも少しずつ慣れ、高校にも入ることができました。」体験者からの体験談は、日本語を母語としない生徒や保護者にとって貴重なお話となりました。

③ 交流会

交流会では、言語ごとに4～8人程度のグループに分かれ、各班に通訳者とR'sのボランティアスタッフが一緒に入り、同じ言語ごとに話をする時間を設けました。教育委員会の指導主事に分からないことを質問し、回答を受けながらの茶話会となりました。

参加者からは次のような質問がありました。

（高校進学についての質問）

「どの高校を受けるのが適当か。」

「高校のレベルや場所もわからない。今の点数で入れる学校を知りたい。」

「高校受験のための教科はなにか。」

「私立は経済的に行けないが、機械の専門学校へいきたい。どこが良いか」

（その他日本の学校、進学、勉強についての質問）

「年少の子どもが大学に行くまでにかかる費用はいくらか。」

「漢字はどのように勉強したらよいか。」

平成 22 年度「日本の学校を知ろう！」セミナー写真



セミナー開始前



休憩



学校制度説明



交流会



体験者報告



交流会